

多職種連携研修等による顔の見える関係づくり（各市、地区医師会等）

各市や地区医師会が中心となり、切れ目ない医療提供体制の構築に向け、医師・看護師・ケアマネジャー等在宅療養を支える様々な職種が参加する研修会を開催し、円滑な連携を推進しています。

病院を会場にした研修会を開催し、在宅ケアスタッフが病院の機能の理解を深めたり、ワールドカフェ方式[※]で様々な職種と意見交換し、課題の共有や役割の理解を深めるなど、医療・介護関係者の顔の見える関係構築が進んでいます。

[※]ワールドカフェ方式：カフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマについて対話を行う会議形式。メンバーの組み合わせを変えながら話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる。